



下館ロータリークラブ会報

第 02672 号

発行日／令和 6 年 9 月 25 日



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



本日のプログラム

会 員 卓 話

次週のプログラム

米山記念奨学月間卓話

会長／宮 田 憲 一

副会長／早 瀬 浩 一

幹事／潮 田 武 彦

会長エレクト／堀 江 勤

Facebook



例会日時／水曜日 12 時 30 分

例 会 場／ダイヤモンドホール (〒308-0847 茨城県筑西市玉戸 1053-4 ☎0296-28-8511)

U R L／<http://www.shimodate-rc.gr.jp>

E-mail／shimodate@ri2820.jp

Instagram





前例会報告 第 3065 回 2024/9/11(水)

会長挨拶

宮田 憲一 会長



みなさまこんにちは。

先週のガバナー公式訪問は、大変お疲れさまでした。大高ガバナーによる、丁寧かつ大変真摯なご指導、アドバイスをいただき、クラブの未来にとって、とても有意義な時間を共有できたと思います。皆様のご協力ありがとうございました。

さて、何度かご紹介してきましたが、下館ロータリークラブの友好クラブは2クラブあり、ひとつはネパール・カスタマングラッパRC。そしてもうひとつが岡山県高梁市の高梁RCです。

これは旧・下館市と旧・高梁市が、江戸時代に水谷勝隆（みずのやかつたか）が元下館藩主であったことが縁となり、友好都市提携の協約を締結したことから、両クラブも友好クラブとなりました。

この岡山県高梁市＝旧・備中松山藩には大変偉大な人物がいます。『山田方谷』です。ご存知の方はいらっしゃいますか？

幕末から明治にかけての動乱期、十万両の借金にあえぐ超貧乏藩であった備中松山藩五万石を、わずか7年で借金返済したうえで蓄財十万両、正兵五百に農兵隊1200名を加える、実力としては二十万石・三十万石とも評価される富国強兵に変身させた藩政改革者です。幕末の代表的な陽明学者でもありました。『領民みんなが幸せになるために誠を尽くす』

という哲学を持ち

『至誠惻怛（しせいそくだつ）』＝誠意を尽くし人を思いやる心という言葉でも有名です。弟子の越後長岡藩主・河井継之助（かわいつぎのすけ）に贈った言葉としても知られます。

子ども時代、方谷の家は農業と菜種油の製造販売で生計を立てておりました。農家の出身でありながら、なぜ藩政改革を行う人物となったのでしょうか？

ひとつに父母の教育にあったといいます。

母・梶はとりわけ教育熱心で、方谷が3歳になると毎日文字を書くことを教えました。父・五郎吉も読書・学問の大切さを教え厳しく育てたといいます。

5歳で隣の新見藩にある丸川松隠塾に入門し16歳まで学びました。そんな両親を方谷15歳の時には失っております。父が亡くなったため、家業を継いでいますが、昼は懸命に働き、夜は黙々と勉強に励んでいました。数年後にはその誠実な取引姿勢から正直者との評判を得るようになっていました。21歳の時、備中松山藩から呼び出しを受けた方谷は『農商の身でありながら、学問に精進する心掛けは誠に感心である。二人扶持（ブチ）という俸禄を与える。時々、藩校の有終館に学んで後日御用にたつように』との藩主板倉勝職（かつつね）の沙汰書を受け取りました。（奨学金の授与）このように優秀な人材には藩校で学ぶ道が開かれていました。

さて今月のロータリー月間は識字率向上と基本的教育月間です。

江戸時代の寺小屋の普及で江戸から明治初期における日本の都市部の識字率は世界的にも高い水準にありました。嘉永年間1850の識字率は70～86%で、当時のイギリスの工業都市20-25%、フランスで1.4%、帝政ロシアのモスクワが20%など、ヨーロッパ諸



国と比べても日本の識字率は各段に高かったのです。

寺子屋を世界中に普及させる運動が、公益社団法人日本ユネスコ協会連盟により主催されています。世界識字教育運動の1つであるユネスコ世界寺子屋運動（World Terakoya Movement）です。様々な理由により教育を受けるチャンスの無かった成人や子どもたちに教育のチャンスを提供することを目的としている。1990年の国際識字年を契機に始まりました。寄付のほか、書き損じ葉書を換金したものなどを資金とし、途上国でコミュニティ・ラーニング・センター（寺子屋）を設立し初等教育を施しています。

そしてもちろん世界中のロータリークラブが子ども達の教育のためにさまざまな奉仕活動を行っています。

ぜひ山田方谷や識字率向上と基本的教育について学ぶ機会となれば幸いです。

会長あいさつは以上となります。

理事会報告

潮田 武彦 幹事

- 11月プログラムについて
- カスタマングrup R C 訪日について
- 地区大会について 11月9・10日
- 9月18日情報委員会
- 新井パストガバナーが国際ロータリー第一地域のロータリー財団コーディネーターに選出
- 10月2日米山月間卓話
- 10月27日ポリオイベント 12時30分から

幹事報告

潮田 武彦 幹事

- 第31回筑西少年の主張大会
- 神山芳子バレエパフォーマンスポリオ根絶募金 9月22日 14時45分

新入会員卓話

横塚 篤 会員



下館ロータリークラブメンバーの皆様、私は本年4月より関彰商事ビジネストラנסフォーメーション部下館支店で勤務しております、横塚でございます。

まずは、私の経歴についてご紹介させていただきます。1978年筑西市で生まれ現在46歳。関彰商事に入社したのは2001年4月です。その後、福島支店やつくば支店で経験を積ませていただきました。福島支店での様々な貴重な経験は自分の糧になっております。

地元筑西市をはじめ県内・県外地域の皆様にも様々な場面でいつもお世話になっております。弊社はエネルギーをはじめ様々な事業でお世話になっております。今後も皆様のご要望やお困りごとに役に立てますよう尽力する所存です。同時にまだお役に立てていないお客様へ何かのお役に立てますよう行動してまいります。

下館支店に着任し、歴史ある下館ロータリークラブのメンバーの皆様にもご指導いただき、改めて地元を学び皆様との関わりを深める中で、地域の発展に貢献できる存在でありたいと心から願っております。

最後になりますが、下館ロータリークラブのメンバーの皆様からの温かいご指導やご支援をいただきながら、今後も地域の発展に向けて協力し合い、共に成長していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



第31回筑西市少年の主張大会 開催される

令和6年9月13日(金) 13:20～イル・ブリランテにおいて、当クラブが後援している筑西市少年の主張大会が開催されました。

この主張大会は、少年が健やかに成長するためには、自ら社会の一員としての自覚と責任にめざめ、健康な心身づくりに努めるほか、親をはじめ、少年を育成する立場にある者は、これら少年の健全な成長を助けるための努力を続けることが必要です。

そのため、中学生による「少年の主張大会」を開催し、少年が日常生活の中で感じ、あるいは考えていることを広く社会に訴えることにより、同世代の少年がより深く他者や社会との関わりについて考えるきっかけを作るとともに、少年の健全育成に対する地域の方々の理解と関心を高めようとするものです。



審査員

茨城県県西県民センター青少年指導員

小島久雄様
茨城新聞社筑西支社長 小林太郎様
下館ロータリークラブ会長 宮田憲一様
筑西市校長会代表 筑西市立竹島小学校長
上野佐知子様

筑西市教育委員会指導課副課長兼指導主事

熊城亜衣様
青少年育成筑西市民の会代表 市民の会副会長
大吉正巳様

スマイルBOX 鈴木健一 副委員長

- ▶宮田 憲一さん 秋が恋しいです。暑い日が続きますのでご自愛下さい。横塚さん卓話よろしく願いいたします。
- ▶潮田 武彦さん 横塚会員の卓話楽しみにしました。よろしくお願いします。
- ▶新井 和雄さん 横塚会員の卓話を記念して
- ▶神山 芳子さん 横塚さん本日の卓話宜しく願いします。
- ▶永井 啓一さん 横塚篤さん卓話楽しみにしておりました。よろしくお願いします。
- ▶早瀬 浩一さん 横塚会員卓話よろしくお願いします。
- ▶鈴木 士裕さん 横塚会員の新入会員卓話楽しみです。よろしくお願いいたします。
- ▶小松 和広さん 横塚さん卓話よろしくお願いします。
- ▶横塚 篤さん 本日は卓話、よろしくお願いいたします。

本日の合計 14,000円 累計 155,000円

出席報告

会員数	出席数	欠席数	病欠	免除
17	11	4	1	1



ロータリーの 目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理想を奨励し、これを育むことにある。
具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理想を实践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。